

CASBEE[®] あいち

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム せんりょう万両	階数	地上3F
建設地	愛知県豊川市千両町上西ノ谷75-1	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化調整区域)	平均居住人員	80人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2015年9月14日
敷地面積	2,978 m ²	作成者	鈴木 宏亮
建築面積	1,330 m ²	確認日	2014年9月15日
延床面積	3,979 m ²	確認者	鈴木 宏亮



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

3.0 1.5 BEE=1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆

①参照値 100%

②建築物の取組み 88%

③上記+②以外の 88%

④上記+ 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">3.4</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">2.8</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3-1 地球温暖化への配慮
 外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた敷地面積}} \times 100$

②資源の有効活用
 Q-2-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性
 LR-2-2 非再生性資源の使用量削減
 建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

③敷地内の緑化
 Q-3-1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用
 Q-3-2 まちなみ・景観の配慮 4) 地域性のある素材による良好な景観形成



スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.40	-	-	3.2
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境				3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				3.3	0.25	3.3	1.00	3.3
3.1 屋光利用				4.2	0.30	4.2	0.30	
1 屋光率		客室の屋光率:2.96 医務室の屋光率:3.27		5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 屋光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30	
1 屋光制御				3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境				3.9	0.25	3.6	1.00	3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材の使用率70%以上		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		有効面積:居室床面積の1/10以上		-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1
1 機能性				3.1	0.40	4.4	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		病室の床面積8m ² 以上		-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		病室の天井高2.5m以上		-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		内外装共、維持管理に配慮した仕上を採用		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.8	0.31	-	-	2.8
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.9	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	②			3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		汚水・雑排水管:VP 冷媒管:CUP		4.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	
2.4 信頼性				2.2	0.19	-	-	
1 空調・換気設備	②			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3 電気設備				1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.1	0.29	2.8	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				3.4	0.31	2.6	0.50	
1 階高のゆとり				3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		建物全体・共用部分の壁長さ比率:0.235		4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性	②			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-	

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出	独自③			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.58		4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化				4.0	0.30	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)		BEI _m =0.86		4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	② 独自	-		1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	躯体+軽鉄+内装仕上げ材とする		4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		発泡剤を用いた断熱材を使用していない		5.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2概算値:88%		3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	独自			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	独自			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音	独自			3.0	0.33	-	-	
2 振動	独自			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート	実施設計段階	■使用評価マニュアル	CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き
特別養護老人ホーム せんりょう万両(仮称)		■評価ソフト:	CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
② 資源の有効活用				2.8
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.1	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 特別養護老人ホーム せん

計画上の配慮事項	
総合	省エネルギー性を高め、温熱環境負荷の低減を図る。
Q1 室内環境	シックハウス対策等、入所者の快適性に配慮した内装とする。
Q2 サービス性能	設備各種配管は耐用年数の高い材質を採用する。
Q3 室外環境(敷地内)	建物周囲において極力死角空間を作らないよう配慮する。
LR1 エネルギー	省エネルギー基準をクリアする省エネ設備を採用する。
LR2 資源・マテリアル	鉄骨造と内部仕上げ材の分別が可能な構造とし、部材の再利用向上を図る。
LR3 敷地外環境	省エネルギー基準クリアを目指した断熱性能、設備省エネ性能とすることで、CO2低減を図る。
その他	特になし